

大学等名	足利短期大学
プログラム名	足利短期大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム

プログラムを構成する授業科目について

- ① 対象となる学部・学科名称      ② 教育プログラムの修了要件 学部・学科によって、修了要件は相違しない



③ 修了要件

プログラムを構成する「一般教育科目(下記1及び2)」から2単位、「専門科目(下記3)」から1単位、合計3単位を取得すること。  
 一般教育科目: 1. 情報処理Ⅰ、2. 情報処理Ⅱ  
 専門科目: 3. 教育方法論Ⅱ

必要最低単位数 3 単位      履修必須の有無 令和8年度以降に履修必須とする計画、又は未定

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
情報処理Ⅰ	1	○	○	○					
教育方法論Ⅱ(コンピュータリテラシー)	1	○	○	○					

⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
情報処理Ⅰ	1	○		○					
情報処理Ⅱ	1	○	○						
教育方法論Ⅱ(コンピュータリテラシー)	1	○		○					

⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
情報処理Ⅰ	1	○		○					
情報処理Ⅱ	1	○	○						
教育方法論Ⅱ(コンピュータリテラシー)	1	○		○					

⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
情報処理Ⅰ	1	○	○	○					
教育方法論Ⅱ(コンピュータリテラシー)	1	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報処Ⅰ	1	○			○						
情報処Ⅱ	1	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション(Society 5.0とは、現在利活用しているビッグデータ、IoT、AI、ロボットについて考える、AI最新技術の活用例)「情報処理Ⅰ」(1回目)</li> <li>・情報検索 - 必要な情報の検索方法 -(データ・AI活用における負の事例紹介、データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方、AI活用領域の広がり)「情報処理Ⅰ」(3回目)</li> <li>・ICTを使った教育のあり方を理解(1) 乳幼児とICTについて(人間の知的活動とAIの関係性)「教育方法論Ⅱ(コンピュータ・リテラシー)」(2回目)</li> </ul>
	1-6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション(Society 5.0とは、現在利活用しているビッグデータ、IoT、AI、ロボットについて考える、AI最新技術の活用例)「情報処理Ⅰ」(1回目)</li> <li>・情報検索 - 必要な情報の検索方法 -(データ・AI活用における負の事例紹介、データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方、AI活用領域の広がり)「情報処理Ⅰ」(3回目)</li> <li>・ICTを使った教育のあり方を理解(3) 情報整理(AI等を活用した新しいビジネスモデル)「教育方法論Ⅱ(コンピュータ・リテラシー)」(4回目)</li> </ul>
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Excelの基本操作(3) -関数、統計-(データの種類、調査データ)「情報処理Ⅱ」(12回目)</li> <li>・Excelの基本操作(5) -データベース機能、データ処理-(データのオープン化、統計情報の正しい理解)「情報処理Ⅱ」(14回目)</li> </ul>
	1-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション-ICTを使用した教育方法の基礎的理論と実践を理解する-(データ・AIの活用領域の広がり)「教育方法論Ⅱ(コンピュータ・リテラシー)」(1回目)</li> <li>・情報検索 - 必要な情報の検索方法 -(データ・AI活用における負の事例紹介、データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方、AI活用領域の広がり)「情報処理Ⅰ」(3回目)</li> <li>・ICTを使った教育のあり方を理解(2) 情報探索(研究は伊勝、サービスなど)「教育方法論Ⅱ(コンピュータ・リテラシー)」(3回目)</li> </ul>
(3) 様々なデータ利用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Excelの基本操作(4) -表作成、グラフ作成-(データ可視化、データ表現、データの図表表現他)「情報処理Ⅱ」(13回目)</li> </ul>
	1-5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの活用について改めて情報を整理し考えをまとめる(AI利活用事例紹介)「教育方法論Ⅱ(コンピュータ・リテラシー)」(8回目)</li> </ul>

(4)活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報検索 - 必要な情報の検索方法 - (データ・AI活用における負の事例紹介、データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方、AI活用領域の広がり)「情報処理 I」(3回目)</li> <li>・情報モラルについて考える(データ倫理、情報セキュリティ、パスワード、暗号化 他)「情報処理 I」(4回目)</li> <li>・ICTを使った教育のあり方を理解(4) 情報分析(AIサービスの責任論)「教育方法論 II (コンピュータ・リテラシー)」(5回目)</li> </ul>
	3-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラルについて考える(データ倫理、情報セキュリティ、パスワード、暗号化 他)「情報処理 I」(4回目)</li> <li>・SNSの機能や情報モラルを踏まえた教育方法のあり方を模索(情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介)「教育方法論 II (コンピュータ・リテラシー)」(10回目)</li> </ul>
(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Excelの基本操作(3) - 関数, 統計 - (データの種類、調査データ)「情報処理 II」(12回目)</li> <li>・Excelの基本操作(5) - データベース機能, データ処理 - (データのオープン化、統計情報の正しい理解)「情報処理 II」(14回目)</li> </ul>
	2-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Excelの基本操作(4) - 表作成, グラフ作成 - (データ可視化、データ表現、データの図表表現 他)「情報処理 II」(13回目)</li> </ul>
	2-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Googleアプリ - 電子メール, カレンダー, ドライブ, ドキュメント, スプレッドシート 他 - 「情報処理 I」(2回目)</li> <li>・Excelの基本操作(1) - ワークシートの見方, 連続データ入力 - (表形式のデータ)「情報処理 II」(10回目)</li> <li>・Excelの基本操作(2) - データの入力, 計算方法 - (データの集計、並べ替え、ランキング 他)「情報処理 II」(11回目)</li> </ul>

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

情報科社会において求められる数理・データサイエンス・AIを保育者・社会人として使うことができる基礎的知識を身に付ける。人間中心の適切な判断ができ、利活用に置いては倫理上の配慮のもとに適切な判断と説明が身に付く。

プログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度 2021 年度

②履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学定員	収容定員	令和4年度									令和3年度									令和2年度									令和元年度									平成30年度									平成29年度									履修者数合計	履修率
				履修者数			修了者数			履修者数			修了者数			履修者数			修了者数			履修者数			修了者数			履修者数			修了者数			履修者数			修了者数																						
				合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性																							
こども学科	122	75	150	25	0	25	11	0	11	13	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	25%																		
				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0	0	#DIV/0!																					
				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0	0	#DIV/0!																					
				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0	0	#DIV/0!																					
				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0	0	#DIV/0!																					
				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0	0	#DIV/0!																					
				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0	0	#DIV/0!																					
				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0	0	#DIV/0!																					
				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0	0	#DIV/0!																					
				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0	0	#DIV/0!																					
				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0	0	#DIV/0!																					
				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0	0	#DIV/0!																					
				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0				0		0	0	#DIV/0!																					
合計	122	75	150	25	0	25	11	0	11	13	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	25%																					

大学等名

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

- ① 全学の教員数 (常勤)  人 (非常勤)  人
- ② プログラムの授業を教えている教員数  人
- ③ プログラムの運営責任者  
 (責任者名)  (役職名)

- ④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)  
  
 (責任者名)  (役職名)

- ⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

- ⑥ 体制の目的

- ⑦ 具体的な構成員

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和4年度実績	25%	令和5年度予定	30%	令和6年度予定	35%
令和7年度予定	40%	令和8年度予定	45%	収容定員(名)	150

具体的な計画

目標を実現するために、履修ガイダンスや履修指導、および、必修科目の中で本教育プログラムに関する情報提供を行うほか、令和3年度より授業時間外での学習指導や質問を受ける仕組みで教育上の工夫をしている。また、教材をLMS上にアップし、授業の予習や復習ができるようにして、履修促進に繋げている。

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

本学は「こども学科」1学科で構成されているため、上記の⑥～⑧に記載した体制や取組に注力することが重要である。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

必修科目の授業内で説明を行い、履修を促すことに加え、LMSを活用した個人指導を充実させるシステムを活用している。個別指導システムを通じて履修指導を強化することで、できる限り多くの学生が履修できるよう、履修指導を行っている。また、履修ガイダンスや必修科目内での情報提供を通じた周知も行っている。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

本教育プログラムを構成しているの授業科目は既設の科目であり、LMSに毎時間の授業コンテンツを蓄積している。学生はいつでも講義の閲覧が可能である。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

従来から設けられているオフィスアワーを活用した学習指導や質問対応を行うだけでなく、オフィスアワー時間外でも個別に質問や指導を受けることができる。また、日本情報処理検定試験前には特別講座や模擬試験を設けている。

大学等名 足利短期大学

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

自己点検・評価委員会

(責任者名) 末武義崇 (役職名) 学長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	<p>開講している全ての科目の履修・取得状況は、教務課に登録されている情報によって把握することができる。教育プログラムを構成する科目の履修・取得状況についても教務課のデータを活用して分析を進めている。また、本学で導入しているLMSを活用することで、受講者毎の講義演習進捗状況や課題への取組状況を把握することができる。</p> <p>『情報処理Ⅰ』と『情報処理Ⅱ』は幼稚園教諭免許取得のための必須科目に置かれているためほぼすべての学生が履修し修得している。『教育方法論Ⅱ』に関しては選択科目であるため学生に分かりやすい内容を提示し受講生増加を図る。</p>
学修成果	<p>本学では全科目について受講生全員による授業評価アンケートを行っている。令和4年度のアンケート結果を見ると、『総合的な満足度』や『授業への興味や関心』についてはどの科目も85%以上となっていたため、授業展開については引き続き高い関心を持てるような展開を検討していく。学修成果については、情報処理Ⅰに関しては平均点が80点を超えていることからアンケート結果と比例して高い学修成果が得られていることが確認できたため引き続き努力していく。情報処理Ⅱや教育方法論については、アンケート調査や学習成果を把握することで教育プログラムの評価・改善につなげることができる。</p>
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	<p>本学では全科目について受講生全員による授業評価アンケートを行っている。学生の内容の理解度はアンケート項目にある『授業内容への興味や関心が深まっていますか』や『授業内容は今後役に立つと思いますか』、『説明、指導、アドバイスなどは適切ですか』等で判断している。</p>
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	<p>学生による授業評価アンケートの総合的な満足度で判断すると、すべての科目で満足度は高く90%を超える評価を受けている。履修生の満足度が高まっていること、また「おもしろかった」というコメントも考慮すると、後輩を含む他の学生への推奨度も高まることが期待できる。</p>
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	<p>選択科目となっている「教育方法論Ⅱ」については、必修科目である「情報処理Ⅰ」と「情報処理Ⅱ」の授業内や個別相談を通じて学生に履修を促している。</p>



自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	<p>卒業生の多くが保育や福祉の現場に就職している。短大で身に付けた知識や技術をいかし、保育の現場でHPやSNSへの配信、WordやExcel、PowerPointなどの技術を活用した情報発信担当として活躍していると園長から報告を受けている。</p> <p>エビデンスとして、附属幼稚園での活躍状況を別紙に沿える準備をする。</p>
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	<p>本学教員全員が理事を務めている「足利幼児教育研究会」の中で検証していく。年に2回行われる研修会で保育現場で活用されるICTについての講演やアンケート調査などを行う準備を進める。</p> <p>足利幼児教育研究会は、幼児教育の質をたかめるため、現場、行政、本学（養成機関）が三位一体となり発足させた全国的にも珍しい研究会である。</p>
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	<p>本学の学生は卒業後の進路に明確な目標を持っていることから、授業内でできるだけ数理・データサイエンス・AIが職業にいかん活用されているか実例などを使って説明している。また学生自身が新たな気づきや発見ができるよう授業を展開することで、授業アンケートにも記載された「おもしろかった」に繋がり、学生の興味関心や学ぶことの意義を高めている。</p>
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	<p>多くの学生が就職する保育の現場に関するデータを用いることで学びの意欲に繋げることを心掛けている。また、毎時間の課題や技術テストの結果をもとに次の授業の展開を考えている。そうすることで学生の理解度に合わせた授業展開にすることができ、「分かりやすい」授業としている。授業評価アンケートの意見も参考に改善を図っていく。</p>

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	情報処理 I			演習	采澤陽子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書：なし 参考書：保育者のためのパソコン講座（株）萌文書林 2000円+税）
1単位	—	○	—		
評価方法・基準					
定期試験	課題	実技	発表	授業態度	教材：適宜配布
—	60%	30%	10%	—	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業内容・方法】

情報化社会で必要とされるネットワークや情報倫理の知識を養い、情報検索やソフトウェア操作の技術を身につけることで、情報処理の役割や可能性を理解し、大学生活や社会生活のさまざまな場面でコンピュータを活用できるようになることを目的とする。授業形態は演習を中心とするが、発表の場としてプレゼンテーションを取り入れる。

#### 【フィードバックの方法】

毎時間初めに、前回の復習を兼ねた技術確認テストと解説を行う形でフィードバックを行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・インターネットを活用した情報収集力を身につけ、幅広い視野で物事を捉えることができるようになる。
- ・ビジネス文書や文書デザインの作成ができるようになる。
- ・プレゼンテーションについて理解し、プレゼンテーションができるようになる。

週	授業計画	準備学習（予習・復習）	準備学習時間
1	オリエンテーション（Society 5.0 とは、現在利活用しているビッグデータ、IoT、AI、ロボットについて考える、AI 最新技術の活用例）Windows と manaba の基本操作	予習) 高校までに学んできた PC 技術の復習	0.5 時間
		復習) Windows と manaba の動作確認	1 時間
2	Google アプリ - 電子メール、カレンダー、ドライブ、ドキュメント、スプレッドシート 他 -	予習) 電子メール利用の注意事項をまとめる	0.5 時間
		復習) 電子メールの送受信	1 時間
3	情報検索 - 必要な情報の検索方法 - (データ・AI 活用における負の事例紹介、データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方、AI 活用領域の広がり)	予習) 実習園の情報収集	0.5 時間
		復習) 収集した情報の確認	1 時間
4	情報モラルについて考える (データ倫理、情報セキュリティ、パスワード、暗号化 他)	予習) 著作権や肖像権についてまとめる	0.5 時間
		復習) コピペについてまとめる	1 時間
5	Word 基本操作(1)・タッチタイピングと日本語入力 -	予習) タイピング練習	0.5 時間
		復習) 日本語入力練習	1 時間
6	Word 基本操作(2)・タッチタイピングとビジネス文書作成 -	予習) ビジネス文書について調べる	0.5 時間
		復習) タイピングと文書体裁の整え方を練習	1 時間
7	Word 基本操作(3)・文章の体裁を整える -	予習) タイピングと文書体裁の整え方を練習	0.5 時間
		復習) タイピングと文書体裁の整え方を練習	1 時間
8	Word 基本操作(4)・デザインタブを知る -	予習) タイピングと文書体裁の整え方を練習	0.5 時間
		復習) タイピングと文書体裁の整え方を練習	1 時間
9	Word 基本操作(5)・表作成 -	予習) タイピングと文書体裁の整え方を練習	0.5 時間
		復習) 文書体裁の整え方を練習	1 時間
10	Word 基本操(6) - 図形描画 -	予習) 文書体裁の整え方を練習	0.5 時間
		復習) 文書体裁の整え方を練習	1 時間
11	プレゼンテーションについて	予習) プレゼンテーションとは何かを調べる	0.5 時間
		復習) PowerPoint 操作の確認	1 時間
12	PowerPoint 基本操作(1)・画面構成、スライド作成 -	予習) PowerPoint 操作の確認	0.5 時間
		復習) PowerPoint 操作の確認	1 時間
13	PowerPoint 基本操作(2)・アニメーション -	予習) スライドの見え方について考える	0.5 時間
		復習) アニメーションの確認	1 時間
14	プレゼンテーション作成	予習) プレゼンテーション内容を考える	0.5 時間
		復習) プレゼンテーション内容をまとめる	1 時間
15	プレゼンテーション発表 まとめと振り返り	予習) 発表の練習	0.5 時間
		復習) 学んだ技術の振り返り	1 時間

#### \* 担当者からのメッセージ \*

各高校で学んだ情報技術の内容が違いため、皆さんの情報技術を確認しながら進めていきます。毎時間初めに復習を兼ねた確認テストを行いますので遅刻をしないよう注意しましょう。

【オフィスアワー】オフィスアワーは水曜日5コマ目です。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	情報処理Ⅱ			演習	采澤陽子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書：なし 参考書：保育者のためのパソコン講座（株）萌文書林 2000円+税）
1単位	—	○	—		
評価方法・基準					
定期試験	課題	実技	発表	授業態度	教材：適宜配布
—	70%	30%	%	—	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業内容・方法】

情報処理Ⅰで習得した知識・技術・能力等を応用し、保育の現場で使われている資料の作成、データの見方や基本的な考え方、自分でグラフを作成するなどができるようになることを目的とする。使用するデータは、幼稚園や保育園、認定こども園などから頂いた実データを基にする。また、ができるようになること課題に取り組む際には、情報モラルについて常に意識する。ICTを活用した実践的知識とスキルの向上を、演習を通して習得する。授業形態は演習を中心とする。

#### 【フィードバックの方法】

情報処理Ⅰに引き続き、毎時間初めに前回の復習を兼ねた確認技術テストを行う形でフィードバックを行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・園だよりや運動会プログラム等、実践に近い文書デザインを作成することができるようになる。
- ・統計的分析やグラフを作成することができるようになる。
- ・保育に必要な情報を収集分析することができるようになる。

週	授業計画	準備学習（予習・復習）	準備学習時間
1	オリエンテーション タッチタイピング、Wordの復習ービジネス文書作成ー	予習) Word技術の復習	0.5時間
		復習) Word技術の復習	1時間
2	情報検索 - 必要な情報の検索方法 -	予習) 就職を見据えた情報収集	0.5時間
		復習) 収集した情報の確認	1時間
3	Wordの復習(1)ービジネス文書作成, 表作成ー	予習) Word技術の復習	0.5時間
		復習) Word技術の復習	1時間
4	Wordの復習(2)ービジネス文書作成, 図形描画ー	予習) タイピング練習	0.5時間
		復習) Word技術の復習	1時間
5	Wordの応用(1)ー園だより作成1ー	予習) 色々なパターンの園だよりを見つける	0.5時間
		復習) 文書体裁の整え方を練習	1時間
6	Wordの応用(2)ー園だより作成2ー	予習) 文書体裁の整え方を練習	0.5時間
		復習) 文書体裁の整え方を練習	1時間
7	Wordの応用(3)ー指導案作成1ー	予習) 指導案の内容を考える	0.5時間
		復習) 文書体裁の整え方を練習	1時間
8	Wordの応用(4)ー指導案作成2ー	予習) 指導案の内容を考える	0.5時間
		復習) 文書体裁の整え方を練習	1時間
9	Wordの応用(5)ー運動会プログラム作成ー	予習) 色々な運動会のプログラムを見つける	0.5時間
		復習) 文書体裁の整え方を練習	1時間
10	Excelの基本操作(1)ーワークシートの見方, 連続データ入力(表形式のデータ)	予習) Excelでできることをまとめる	0.5時間
		復習) 連続データを使ってカレンダーを作る	1時間
11	Excelの基本操作(2)ーデータの入力, 計算方法ー(データの集計, 並べ替え, ランキング 他)	予習) 高校までの数学の復習	0.5時間
		復習) Excelでお小遣い帳を作る	1時間
12	Excelの基本操作(3)ー関数, 統計ー(データの種類, 調査データ)	予習) 関数や統計について調べる	0.5時間
		復習) 授業内で行ったデータの再確認	1時間
13	Excelの基本操作(4)ー表作成, グラフ作成ー(データ可視化, データ表現, データの図表表現 他)	予習) 表やグラフの見方をまとめる	0.5時間
		復習) 表やグラフを作る	1時間
14	Excelの基本操作(5)ーデータベース機能, データ処理ー(データのオープン化, 統計情報の正しい理解)	予習) データベースについて調べる	0.5時間
		復習) データベース機能を使ってみる	1時間
15	まとめと振り返り	予習) 数学の復習	0.5時間
		復習) 学んだ技術の振り返り	1時間

#### \* 担当者からのメッセージ \*

保育の現場で生かせる教材やデータを繰り返し作成していきますので、一つでも多くの技術を習得しましょう。

【オフィスアワー】オフィスアワーは水曜日5コマ目です。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	教育方法論Ⅱ（コンピュータ・リテラシー）			演習	采澤陽子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書：なし 参考書：保育者のためのパソコン講座（（株）萌文書林 2000円+税）
1単位	—	1単位以上 選択必修	—		
評価方法・基準					
定期試験	課題	実技	発表	授業態度	教材：適宜配布
—	70%	—	30%	—	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業内容・方法】

これからの社会を生きていく子どもたちや学生のみなさんに求められる資質や能力を育成するために必要な、教育における新しい方法としての ICT 機器の活用等について基礎的な知識や技能を身につける。ICT 教育とは？教育現場での ICT 機器利用の意義と方法について理解を深めることを目的とします。ICT 機器を活用した主体的かつ対話的で深い学びとなるよう工夫された指導案作成ができるよう、段階を経た授業展開をしていきます。

授業形態は、各テーマを中心に演習やディスカッション、グループワークなどのアクティブラーニングを取り入れて行う。

#### 【フィードバックの方法】

課題等に関しては授業の中で随時フィードバックする。

#### 【授業の到達目標】

- ・教育の目的に適した ICT 機器の利用技術を理解している
- ・教材としての ICT 機器の効果的な活用法を理解し、保育計画に活用することができる

週	授業計画	準備学習（予習・復習）	準備学習時間
1	オリエンテーション - ICT を使用した教育方法の基礎的理論と実践を理解する - （データ・AI の活用領域の広がり）	予習) リテラシーとは何かをまとめる	0.5 時間
		復習) ICT についてまとめる	1 時間
2	ICT を使った教育のあり方を理解(1) 乳幼児と ICT について（人間の知的活動と AI の関係性）	予習) 乳幼児向けの ICT を調べる	0.5 時間
		復習) 幼児の現場での ICT について調べる	1 時間
3	ICT を使った教育のあり方を理解(2) 情報探索（研究開発、サービスなど）	予習) 幼児向けアプリを検索実施	0.5 時間
		復習) アプリが持つ影響について調べる	1 時間
4	ICT を使った教育のあり方を理解(3) 情報整理（AI 等を活用した新しいビジネスモデル）	予習) アプリが持つ影響についてまとめる	0.5 時間
		復習) 実際とまとめた内容の確認	1 時間
5	ICT を使った教育のあり方を理解(4) 情報分析（AI サービスの責任論）	予習) 文献検索	0.5 時間
		復習) 情報をまとめる	1 時間
6	ICT を使った教育のあり方を理解(5) プレゼン	予習) 発表原稿作成	0.5 時間
		復習) 発表の振り返り、質疑応答をまとめる	1 時間
7	ICT を使った教育のあり方を理解(6) 教材や教具としての ICT	予習) 教材としての ICT について調べる	0.5 時間
		復習) 教材としての ICT について考える	1 時間
8	ICT の活用について改めて情報を整理し考えをまとめる（AI 利活用事例紹介）	予習) 幼児と ICT について再検討	0.5 時間
		復習) 検討内容の確認、まとめ	1 時間
9	ICT の活用情報を整理しプレゼン	予習) 発表原稿作成	0.5 時間
		復習) 発表の振り返り、質疑応答をまとめる	1 時間
10	SNS の機能や情報モラルを踏まえた教育方法のあり方を模索（情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介）	予習) SNS のモラルやニュースをまとめる	0.5 時間
		復習) 他の発表者の内容をまとめる	1 時間
11	子ども理解に基づいた指導法と評価の考え方を理解	予習) 保育現場での ICT についてまとめる	0.5 時間
		復習) ICT を活用した指導案を作成	1 時間
12	保育を構成する基礎的な要件を理解し、指導を作成	予習) 指導案内容の見直し	0.5 時間
		復習) 指導案を完成させる	1 時間
13	ICT を使った模擬保育を行い、基礎的技術を身につける	予習) 模擬保育の練習	0.5 時間
		復習) 模擬保育の振り返り	1 時間
14	プログラミングやコンピュータを搭載した機器に触れる	予習) コンピュータ搭載機器を調べる	0.5 時間
		復習) 実際に触れて気づいたことをまとめる	1 時間
15	まとめと振り返り	予習) これまでの学修を受け意見をまとめる	0.5 時間
		復習) 学んだ内容の振り返り	1 時間

#### \* 担当者からのメッセージ \*

自らの経験や授業の体験を通して教育方法の実践的理解を深めつつ、情報化社会に必要な情報活用能力の探究と、自分の意見や考えを持つことに努めてください。

【オフィスアワー】オフィスアワーは水曜日 5 コマ目です。質問は「manaba」でも受け付けます。

# 修学(学科課程表) こども学科(令和4年度(2022)入学生)

○：必修科目  
 \*：本学指定科目（必修ではないが受講が義務付けられた科目）  
 #：保育士通知科目に対応した科目

こども学科一般教育科目 卒業（必修科目6単位を含め8単位以上）  
 幼稚園教諭二種免許状（必修科目10単位以上）  
 保育士資格（必修科目6単位を含め8単位以上）

区分	授業科目	科目ナンバリングコード	授業形態	単位数		卒業	免種	保育士	開講時期			担当教員	備考	
				開講単位	必修選択				1年前期	1年後期	2年前期			2年後期
一般教育科目	仏教学	YHIA1	講義	2	2	○	○	○				武井		
	文学	IA2	講義	2	2	○	○	○				中野		
	美術	IA3	講義	2	2	○	○	○				都丸		
	法学(日本国憲法)	YIB1	講義	2	2	○	○	○				野本		
	心理学	IB2	講義	2	2	○	○	○				五十嵐		
	情報処理Ⅰ	YIC1	演習	1	1	○	○	○				禾澤		
	情報処理Ⅱ	YIC2	演習	1	1	○	○	○				禾澤		
	英語Ⅰ	YHID1	演習	1	1	○	○	○				Soper		
	英語Ⅱ	YHID2	演習	1	1	○	○	○				Soper		
	体育理論	YHIE1	講義	1	1	○	○	○				小野		
	体育実技	YHIE2	実技	1	1	○	○	○				小野		
	小計				16	6	10	8	10	8				

こども学科専門科目 卒業（必修科目20単位を含め54単位以上）  
 幼稚園教諭二種免許状（必修科目39単位を含め54単位以上）  
 保育士資格（必修科目56単位以上（#印の必修科目保育内容の指導法(健康)1単位、保育内容の指導法(人間関係)1単位、こどもと音楽(ピアノⅠ)2単位を含む）  
 #印の選択科目から保育実習研究Ⅱ1単位・保育実習Ⅱ2単位、又は保育実習研究Ⅲ1単位・保育実習Ⅲ2単位のいずれか3単位を含め5単位以上選択必修 合計61単位以上）  
 レクリエーション・インストラクター  
 (★印の必修科目4単位及びレクリエーション事業への参加(2回以上))  
 (☆印の選択科目1科目以上)

区分	授業科目	科目ナンバリングコード	授業形態	単位数		卒業	免種	保育士	開講時期			担当教員	備考
				開講単位	必修選択				1年前期	1年後期	2年前期		
専門科目	保育内容総論	YHIA1	演習	1	1	○	○	○				佐々木	
	保育と健康	YHIA2	演習	1	1	○	○	○				小野	
	保育と人間関係	YHIA3	演習	1	1	○	○	○				西	
	保育と環境	YHIA4	演習	1	1	○	○	○				佐々木	
	保育と言葉	YHIA5	演習	1	1	○	○	○				中野	
	保育と表現	YHIA6	演習	1	1	○	○	○				茂木・高橋	
	保育内容の指導法(健康)	YHIA7#	演習	1	1	○	○	#				小野	
	保育内容の指導法(人間関係)	YHIA8#	演習	1	1	○	○	#				西	
	保育内容の指導法(環境)	YHIA9	演習	1	1	○	○	○				佐々木	
	保育内容の指導法(言葉)	YHIA10	演習	1	1	○	○	○				中野	
	保育内容の指導法(造形表現)	YHIA11	演習	1	1	○	○	○				茂木	
	保育内容の指導法(身体表現)	YHIA12	演習	1	1	○	○	○				小野	
	保育者論	YHIB1	講義	2	2	○	○	○				佐々木	
	教育原理・教育制度論	YHIB2	講義	2	2	○	○	○				西	
	心身の発達と学習過程	YHIB3	講義	2	2	○	○	○				五十嵐	
教育の基礎的理解に関する科目	特別支援教育Ⅰ(障がい児保育含む)	YHIB4	演習	1	1	○	○	○				池田	
	特別支援教育Ⅱ(障がい児保育含む)	YHIB5	演習	1	1	○	○	○				池田	
	教育課程・保育の計画と評価	YHIB6	講義	2	2	○	○	○				塩澤	
	小計												

# 修学(学科課程表) こども学科(令和4年度(2022)入学生)

区分	授業科目	科目ナンバリングコード	授業形態	単位数		卒業	免種	保育士	開講時期			担当教員	備考
				開講単位	必修選択				1年前期	1年後期	2年前期		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育方法論Ⅰ	YHIC5a#	演習	1	1	○	○	○				佐々木	多文化保育
	教育方法論Ⅱ	YHIC5b#	演習	1	1	○	○	○				禾澤	2次・3次
	教育方法論Ⅲ	YHIC5c#	演習	1	1	○	○	○				池田	生涯学習
	教育の方法と技術Ⅰ	YHIC1#	演習	1	1	○	○	○				高橋	音楽
	教育の方法と技術Ⅱ	YHIC2#	演習	1	1	○	○	○				茂木	造形
教育実践に関する科目	教育の方法と技術Ⅲ	YHIC3#	演習	1	1	○	○	○				小野	運動★
	幼児理解と教育相談	YHIC4#	講義	2	2	○	○	○				都丸	
	保育教職実践演習(幼稚園)	YHID1	演習	2	2	○	○	○				西・都丸・小野・中野・池田・禾澤・高橋・茂木	
	教育実習研究	YID2	実習	1	1	○	○	○				茂木・中野	
	教育実習	YID3	実習	4	4	○	○	○				茂木・中野	1年次3回開講 2年次3回開講
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	YHIE1	講義	2	2	○	○	○				西	
	こども家庭福祉	YHIE2	講義	2	2	○	○	○				星田	
	社会福祉	HIE3	講義	2	2	○	○	○				星田	
	こども家庭支援論	HIE4	講義	2	2	○	○	○				近末	
	社会的養護Ⅰ	HIE5	講義	2	2	○	○	○				星田	
保育の対象の理解に関する科目	仏教養育論	HIE6#	講義	2	2	*	#	*				藤生・関・内藤	
	福祉と人権	HIE7#	講義	2	2	*	#	*				長江	
	こども家庭支援の心理学	HIF1	講義	2	2	○	○	○				瑞徳	
	こどもの理解と援助	HIF2	演習	1	1	○	○	○				佐々木	
	こどもの保健	HIF3	講義	2	2	○	○	○				瑞徳	
保育の内容・方法に関する科目	こどもの食と栄養	HIF4	演習	2	2	○	○	○				川田	
	乳児保育Ⅰ	HIG1	講義	2	2	○	○	○				加藤	
	乳児保育Ⅱ	HIG2	演習	1	1	○	○	○				加藤	
	こどもの健康と安全	HIG3	演習	1	1	○	○	○				瑞徳	
	社会的養護Ⅱ	HIG4	演習	1	1	○	○	○				赤坂・常山	
	子育て支援	HIG5	演習	1	1	○	○	○				近末	
	こどもと音楽(ピアノⅠ)	HIG6#	演習	2	2	*	#	*				藤・瀬崎・末・藤・藤・藤・藤・藤・藤・藤	
	こどもと音楽(ピアノⅡ)	HIG7#	演習	1	1	*	#	*				藤・瀬崎・末・藤・藤・藤・藤・藤・藤	
	こどもと音楽(うた)	HIG8#	演習	1	1	*	#	*				千葉	
	国語表現法	HIG9#	演習	1	1	○	○	○				中野・都丸	
保育実習	保育教材研究Ⅰ	HIG10#	演習	1	1	*	#	*				柿沼	表現77-
	保育教材研究Ⅱ	HIG11#	演習	1	1	○	○	○				柿沼	あそび歌
	保育教材研究Ⅲ	HIG12#	演習	1	1	○	○	○				小野	防災と危機管理
	総合表現Ⅰ	HIG13#	演習	1	1	*	#	*				藤・藤・藤・藤・藤・藤・藤・藤・藤・藤	
	総合表現Ⅱ	HIG14#	演習	1	1	*	#	*				藤・藤・藤・藤・藤・藤・藤・藤・藤・藤	
	レクリエーション理論	HIG15#	講義	2	2	○	○	○				禾澤	★
	レクリエーション実技	HIG16#	演習	1	1	○	○	○				柿沼	★
	手話コミュニケーション	HIG17#	演習	1	1	○	○	○				飯島・新井	
	保育実習研究Ⅰ	HHH1	演習	2	2	○	○	○				西・瑞徳	
	保育実習Ⅰ	HHH2	実習	4	4	○	○	○				西・瑞徳	保育実習1日開講 2日開講
	保育実習研究Ⅱ	HHH3a1#	演習	1	1	○	○	○				西・瑞徳	
	保育実習Ⅱ	HHH3a2#	実習	2	2	○	○	○				西・瑞徳	11日間
	保育実習研究Ⅲ	HHH3b1#	演習	1	1	○	○	○				瑞徳・池田	
	保育実習Ⅲ	HHH3b2#	実習	2	2	○	○	○				瑞徳・池田	11日間
	その他	基礎演習ⅢI	演習	1	1	*	#	*				都丸・武井	
小計				87	20	69	54	54	60				
合計				103	26	79	62	62	68				

## 数理・データサイエンス・AI教育プログラム運営委員会規程

(設置)

**第1条** 本学に数理・データサイエンス・AI教育プログラム運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

**第2条** 委員会は、本学における足利短期大学数理・データサイエンス・AI教育プログラムの運営・改善等に関する諸問題を審議し、本学学生の数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な知識の全学的な普及を図るための関連科目を整備し、データを活用して社会の課題を発見、解決できる人材の育成に資することを目的とする。

(審議事項)

**第3条** 委員会の審議事項は、次のとおりとする。

- (1) 数理・データサイエンス・AI教育の基本方針に関すること
- (2) 教育プログラムの編成および修了要件に関すること
- (3) 編成した教育プログラムの検証、評価、改善に関すること

(組織)

**第4条** 委員会の組織は、次のとおりとする。

- (1) 学長
  - (2) 学長補佐
  - (3) 学科長
  - (4) 情報教育担当教員
  - (5) 事務長
- 2 委員長は、学長が委嘱する者をあてる。
- 3 委員会が必要と認めたときは、構成員以外の者を出席させ、説明又は意見を求めることができる。

(教育プログラムの運営)

**第5条** 編成した教育プログラムの運営に関して必要な事項は、別に定める。

(事務)

**第6条** 委員会の事務は、事務室が担当する。

(規程の改廃)

**第7条** 本規程の改廃は、学長が決定する。

(その他)

**第8条** この規程に定めるもののほか必要な事項は、学長がこれを定めるものとする。

### 附 則

この規程は、令和4年5月26日から施行する。

## 足利短期大学自己点検・評価委員会規程

**第1条** 足利短期大学のあらゆる領域における質的向上を図るため、本学に自己点検・評価委員会（以下「委員会」という）を置く。

**第2条** 委員会は、足利短期大学全学科の校務に係わる総括的な事項についての自己点検・評価を行い、「自己点検・評価報告書」を発行するとともに、改革・改善を推進する。

**第3条** 委員会は、足利短期大学教職員の能力向上のため、FD活動を推進する。  
FD活動に関する内規は別に定める。

**第4条** 委員会は、次の委員をもって構成し、学長がこれを任命する。

- (1) 委員長（学長）
- (2) 学科長
- (3) 委員 1名
- (4) その他学長が特に必要と認めた者

**第5条** 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

**第6条** 委員会は、委員長が必要と認めたときに開会する。

**第7条** 委員長は、会議を招集し、その議長となる。

2. 委員長に事故あるときには、委員長の指名する委員が議長の職務を代行する。

**第8条** 委員会の庶務は、事務職員をもってこれにあてる。

**第9条** 本規程の改廃は、教授会の議を経て学長が決定する。

### 附 則

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成26年5月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、令和4年5月1日から施行する。

# 足利短期大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム

**プログラムのねらい**：情報科社会において求められる数理・データサイエンス・AIを保育者・社会人として使うことができる基礎的知識を身に付けます。データやAIを活用する場面においては、人間中心の倫理観のもとに適切な判断と配慮ができる人材を育成します。  
本プログラム修了者には修了証を交付します。

## 注目POINT！

『情報処理Ⅰ』と『情報処理Ⅱ』は幼稚園教諭免許取得のための必須科目です。この2科目に選択科目として『教育方法論Ⅱ』を修得することで本プログラムの修了認定となります。

## こども学科

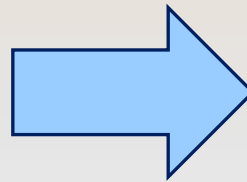
### －履修する科目－

情報処理Ⅰ  
(1年次 1単位)

情報処理Ⅱ  
(2年次 1単位)

教育方法論Ⅱ  
(コンピューターリテラシー)  
(2年次 1単位)

令和4年度修了者から学内認定開始



本プログラムを履修するために特別な手続きは不要です。  
通常通り履修登録をするだけでOK！

これからの第4次産業革命、Society 5.0の社会に必要とされる人材

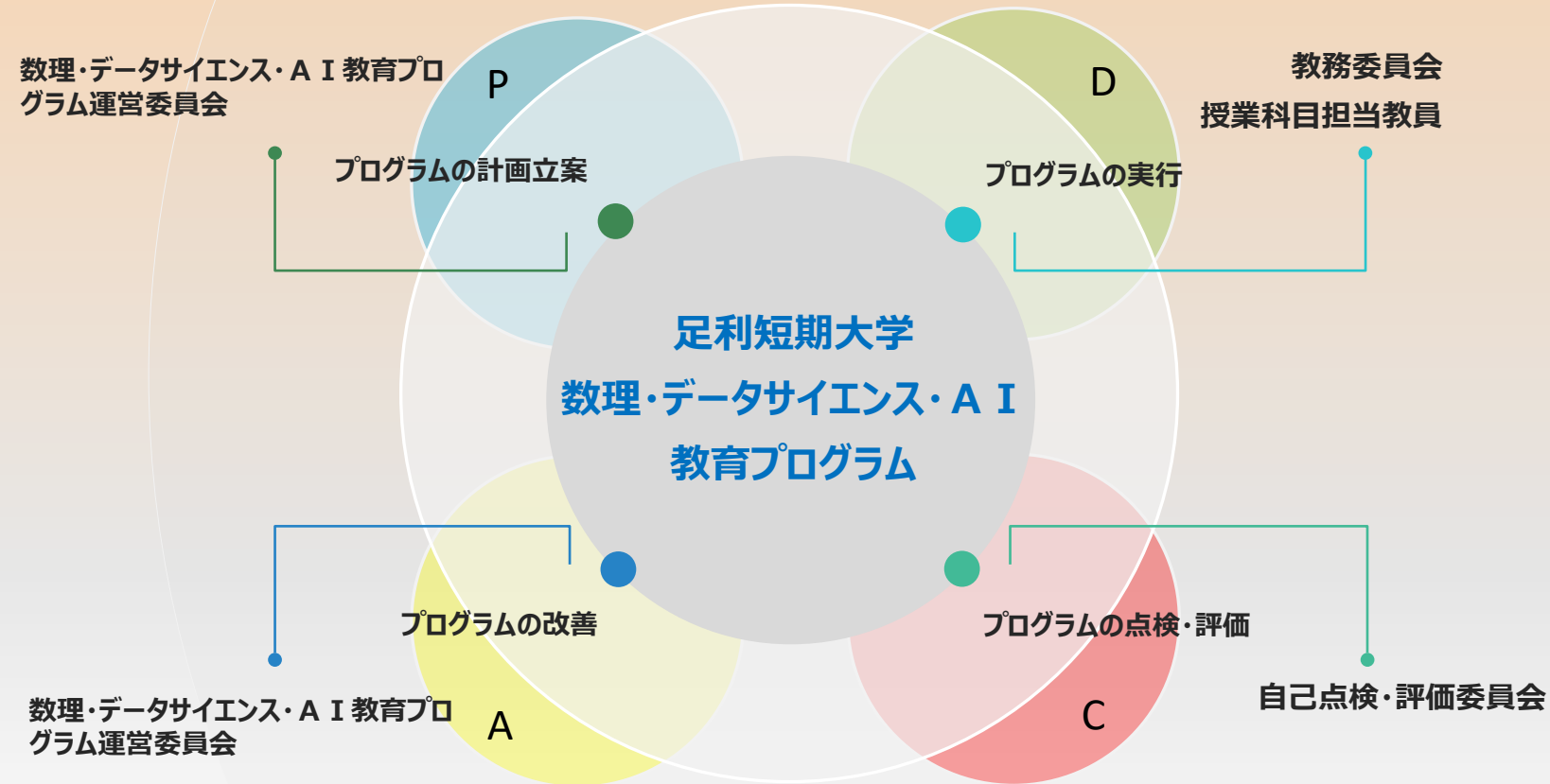
### －修得する学び－

情報モラル  
情報リテラシー  
データ処理  
プログラミング  
プレゼンテーション技法  
保育現場でのICT活用法



# 足利短期大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム

**プログラム実施体制：** 本学学生の数理・データサイエンス・AIに対する興味、関心、学習意欲を喚起し、今後の情報化社会下での幼児教育に不可欠な基礎的知識を全学生に獲得させることを目的とする。  
本学における数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する諸問題を審議し、プログラムの計画・運営・評価・改善を行う。



**P：プログラムの計画立案**  
数理・データサイエンス・AI教育プログラム運営委員会  
がカリキュラム編成、プログラム実施方法などを取り決める。

**D：プログラムの実行**  
教務委員会によるプログラム対象科目の履修・修得単位の管理、及び授業科目担当教員による講義の実施

**C：プログラムの点検・評価**  
実行されたプログラムについて単位修得状況や授業評価アンケートに基づき、学長中心に構成される自己点検・評価委員会によるプログラムの点検・評価

**A：プログラムの改善**  
自己点検・評価委員会による評価結果に基づき、足利短期大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム運営委員会がプログラムの改善案を検討する。